

仕事のために…

飯山市社協では、時代のニーズに合った福祉事業を展開するよう、日々努力しています。

そして、今、どのようなニーズがあるのか…。

仕事を探している方のスキルアップのために、ヘルパー2級講座を開きます。

この講座は、長野県の「離職者支援事業」で、5月1日（金）から7月31日（金）まで、平日はほぼ毎日6時間の講習を行います。少し忙しいですが、「それでも頑張つて勉強したい」という方は、ハローワークへお問合せください。

内容は、ヘルパー2級の資格のとれる介護に関する科目の他、市内施設での実習やコミュニケーションスキル等です。詳細は電話でお尋ねください。

飯山市社会福祉協議会

☎2840

または

ハローワーク飯山

☎8609

ストラップと絵本と映画

3月28日（土）に、飯山市福祉センターで「写真入携帯ストラップづくり」を行いました。

定員20名のところ、たくさんの方々が来てくださいました。大盛況でした。

1時から始まったのですが、「ストラップづくり」はともカンタンだったので、映画上映まで時間が余っていました。

そこで、急遽、映画上映実行委員会副委員長の浅野けさ江さんに「読み聞かせ」をお願いしたところ、子どもたちももちろん、大人も見入っ



読み聞かせの様子

てしまいました。今回の映画「子ぎつね」の先生は、40数人の方々に観ていただき、こちらも盛況でした。

遅ればせながら、飯山市福祉センター映画上映会実行委員会の名称が決まりました。

「ふれあい映画上映実行委員会(委員長・吉田正紀)」です。

これは、「飯山市の方々に、老若男女・障害のあるなしに関わらず、映画鑑賞を通してふれあう。また、映画上映を通して交流人口を増やすことを目的に映画上映をしていく」という考えがもたれています。

上映する映画は、アンケート等をもとに、実行委員会で決めています。

この、「ふれあい映画上映実行委員会」には、20代から60代まで、幅広い世代の方々になっていただ

いているのですが、人数が少ないので、「もっといろんな意見を聞きたい」という声が出ています。

☎2840

次回上映作品は、左

どうぞ、ご近所お誘いあ

映画に興味のある方、または、主旨に賛同し、ご協力いただける方は、左記までご連絡ください。

原作は藤沢周平で、当時、映画化は難しいと言われていたのですが、山田監督により映像化されました。

第8回ふれあい映画上映会

期日：平成21年4月25日（土）

時間：午後2時～

場所：飯山市福祉センター 3階

内容：「たそがれ清兵衛」

参加費：申込：不要

お問合せ：飯山市社会福祉協議会

電話 62-2840

ちびっ子川柳

今、俳句や川柳が人気です。公民館でも俳句教室などが行われていますが、児童センターなどの子どもたちの間でもさかんに「歌づくり」が行われています。

そして、中には「これすごい」という作品もあります。

そこで、この下の「歌」の欄の他に、「ちびっ子川柳」のコーナーを設けてご紹介したいと考えています。

もちろん、ちびっ子に限らず、ふとしたときに頭に浮かんだものを、下の「歌」に送っていただいても結構です。季語を入れた「俳句」でも、季語の無い「川柳」でもどちらでもかまいません。

五・七・五の中に、自分の思いや感情・感動を込めて作った俳句や川柳をお待ちしています。

ここで、市内の、ある児童館の子どもたちが作った作品をご紹介します。

この下をご覧ください。

歌

飯山 丸山 昌

・こな雪におはれ見ゆる山の樹樹

・夕映え清しく淡くそまわり日溜りを求めて移る小鳥らの

・寂しさは日ごと深まり思い出さず逝きたる母の針運ぶ姿

飯山 石沢 タツエ

・陽だまりに春一番の福寿草

・小雪まう季節はずれのたいこかな

・あぜ道に「フキノトウ」つむ人見かけ

・千曲ぞい土手の菜の花目がのびて

秋津 三井 サチ

・コミュニティのなきわびしよや春寒し

・母のもとに帰りしきもち デイサービス

・月あおぐ会うたび小さくなる母と

・てらにさくびんくとしろのふじばかま

・入学式色んな子たちと友達だ

・春休みだらだらしてるとすぐ終わる

・まぶらあみスイスイしてる手つきだよ

・とりがきたゆきがふるなかはるがきた

・もつすべに2ねんせいだよたのしみだ

「書く」って！

書く事、調べる事は、パソコン・携帯と、指先ひとつでできる様になった。又、それらを抹消する事も指ひとつでできる。そんな日常の中で、「書く」っていいな、と思つた。

母が元気だった頃、娘（孫）が夏・冬と必ず母に葉書を出していた。母はそれを心待ちに、老いてからは自分宛に来る一通の葉書が、一年間の楽しみだと話していた。今も葉書は、母の写真の傍で語りかけている。

私といえば、子供が小さい頃、留守にする時、置き手紙を書いてきた。おもしろい事に、子供も同じ事をして出掛けていた。

そして今は、県外に住む子供に荷物を送る時に手紙を添える。読むかどうかは知らないが、書く事で私自身が安心するのである。そんな話の中で、「おかんの手紙はとってあるよ。」と言っていた。嬉しかった。「母もお前からもらった手紙は宝だよ。」と心の中でつぶやいた。

声

そして、今の時代だからこそ、親子のコミュニケーションとして「書く」というやりとりも楽しいのではないかと思う。又、指で消せない思い出として。

(PN・森野 優理)

協のデイサービスその他、介護保険事業とはすっかり縁遠くなってしまいましたが、最近建物も別のところへ移転してしまったからでしょうか、紙面に情報が載っていないのが気になる。市内には他にも介護施設がいくつかありますが、唯一情報を知らせて下さり紙面を通していろいろ理解することが出来、遠い日又お世話になるかもしれない施設として読ませて頂いておりました。

少しの情報でもかまいません。私たちにとっては介護の情報の方が関心もあり、市報を通して様子を伝えたいと思います。お願いいたします。

名前も申し上げずに失礼かと思いますがよろしくお願いたします。(匿名)